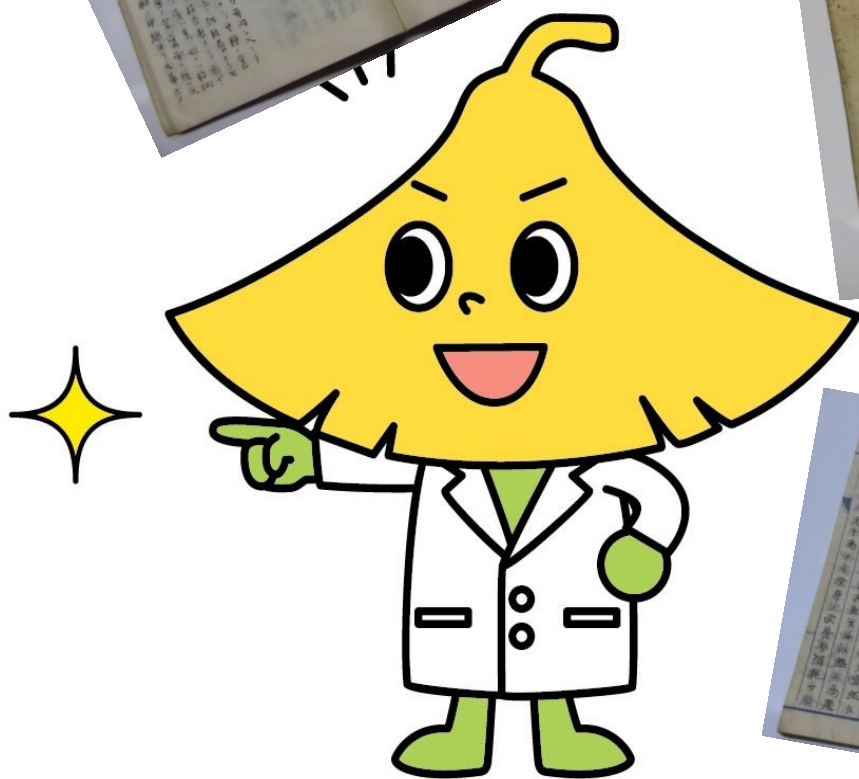
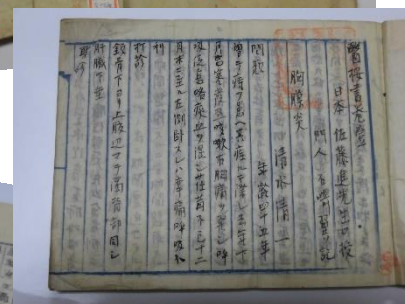
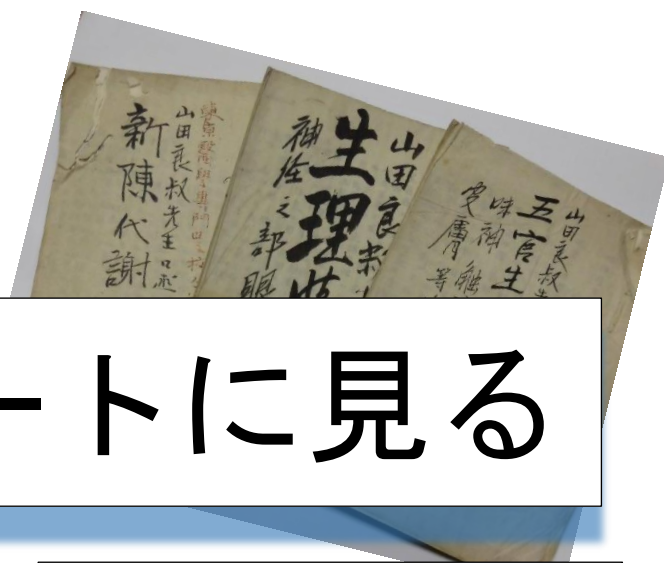


平成 31 年度第 1 回医学情報センター貴重書展示

医学生の

講義ノートに見る

近代医学



平成 31 年 4 月 2 日(火)~6 月 28 日(金)

横浜市立大学医学情報センター1 階



明治時代の近代医学黎明期、志を持って医学を学ぶ学生達がありました。彼らは先人の医学者や海外から招聘した研究者の講義を受け、必死に記録をとりました。約120年の時を経ても、墨で記された丁寧な記述、詳細に描かれた図、随所に書き込まれた注釈に、彼らの医学への熱意を見ることができます。

【展示資料】

生理學 [講義] 6冊

山田良叔述、平野周太郎筆記

明治28年(1895)写(自筆)

東京医学専門学校講師山田良叔の講義の筆記録

※山田 良叔(やまだ りょうしゅく)は明治時代の医学者、「済生学舎」(日本医科大学の前身)三期生。医学雑誌「済生学舎医事新報」(1893-1903)刊行の主幹。

生理學 2冊

猪子吉人述、松島文哲筆記

写(自筆)

済生学舎における講義の筆記録と推定される。

※猪子 吉人(いのこ きちんど)は明治時代の薬理学者。医学博士。日本産毒(キノコ毒、フグ毒)の研究を行った。

生理新論 6冊

(蘭) 亜爾蔑聯斯 [エルメレンス] 述、筆記者不明(書穴戸氏の記述あり)

写

※亜爾蔑聯斯(Christian Jacob Ermerins)はオランダの医学者。大坂醫學校教官。1870-77年滞日。

醫按及病牀講義拔萃(外題) 1冊

佐藤進述、石崎翼筆記

明治初年写

※佐藤 進(さとうすすむ)は、幕末から明治にかけての医師、医学者、日本陸軍軍医、順天堂医院院長。

【参考文献】

- ・横浜市立大学医学情報センター古醫書目録/大島智夫編
横浜市立大学医学情報センター, 1998.10
- ・日本医史学雑誌 第53巻第1号(2007) 114-115 ページ